

平成28年度「田園自然再生活動の集い」実施要領

1. 趣旨

農村では、農業の営みを通じて田んぼや水路、ため池などにさまざまな生きものが生まれ、自然豊かな環境が作り上げられてきました。こうした農業・農村のもつ豊かな自然環境の保全・再生を図るため、地域が一体となって取り組んでいるのが「田園自然再生活動」です。

「田園自然再生活動」によって育まれてきた自然、文化、そして地域社会がより良いものになるよう、改めて体制を確立し、着実に活動していく必要があります。そのため、関係者が一堂に会し、相互に情報交換や意識啓発を図り、活動の継続、充実や拡大を図ることを目指します。

2. テーマ

「田園自然再生活動の集い

～田園自然再生活動 それは自然と人の営みとの関わり～」

3. 開催日時 平成28年12月5日(月) 13:00～16:45 (受付開始 12:00)

※交流会 17:00～18:30

4. 開催場所 東京ウィメンズプラザ ホール

東京都渋谷区神宮前5丁目53-67

5. 主催・後援

主催：田園自然再生活動協議会、(一社)地域環境資源センター

後援：農林水産省、環境省

全国農村振興技術連盟、日本グラウンドワーク協会

6. 対象

自然と共生する農村づくり「田園自然再生活動」に関心のある個人・団体

7. プログラム

- 1) 主催者挨拶 田中 忠次 (地域環境資源センター理事長)
- 2) 来賓挨拶 (農林水産省)
- 3) 来賓挨拶 (環境省)
- 4) 標語コンテスト表彰式
- 5) 講演1 (40分) 中村 桂子 (JT生命誌研究館 館長)
- 6) 講演2 (40分) 沖 陽子 (岡山大学 副学長)
- 7) 事例発表 (各15分)
 - 元泉地区農地・水・環境保全組織 (山形県)
 - 野尻花の里済美隊 (岐阜県)
 - 栃木県立那須拓陽高等学校 (栃木県)

8) パネルディスカッション(60分)

コーディネーター：進士五十八（福井県立大学 学長）

パネリスト：活動団体3グループ代表、講演者（中村桂子、沖陽子）

9) 「田園自然再生活動推進宣言 2016」の採択と閉会挨拶

8. 定員 120名（先着順）

9. 参加費 無料

10. 交流会 17:00～18:30（会場は同ビル内B2のun caféの予定）
会費は3千円

11. 申込先

参加を希望される方は、所定の「参加申込書」（チラシ又は当センターHPよりダウンロードできます）に必要事項を記入し、下記宛先までFAX、Eメール、郵便のいずれかにてお申込みください。（申込締切日は11月28日）

<参加申込先>

（一社）地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局

住所：〒105-0004

東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館6階

電話番号：03-5425-2461

FAX番号：03-3432-0743

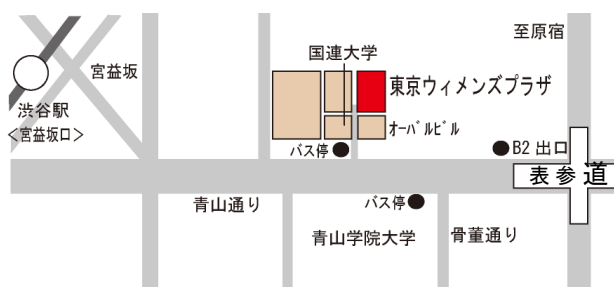
メールアドレス：denen-saisei@jarus.or.jp

URL：http://www.jarus.or.jp/

※標語コンテストの作品も募集中！

【会場案内】

東京ウィメンズプラザ ホール
（東京都渋谷区神宮前5丁目53-67）
東京メトロ「表参道駅」B2出口より
徒歩7分



【平成27年度 田園自然再生活動の集いの様子】



進士五十八先生の講演



第3分科会（環境教育・都市農村交流）